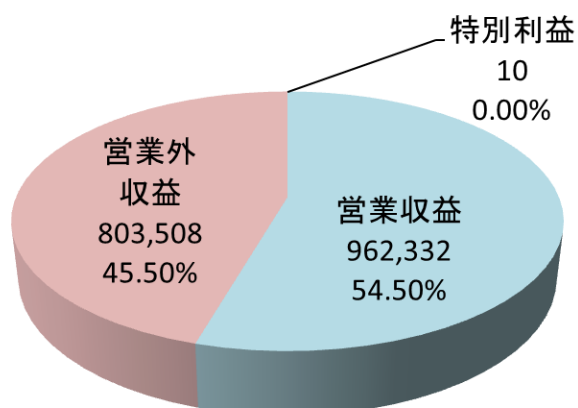


4) 平成 29 年度予算について

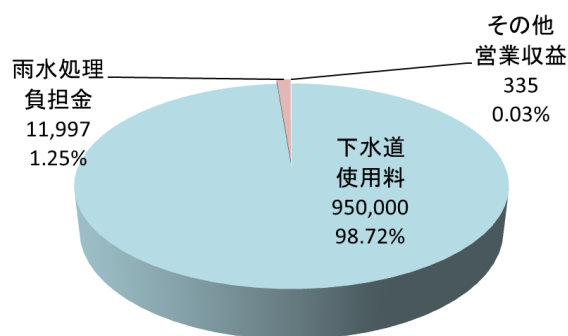
収益的収入 (3条予算)・・・1,765,850 千円

収益的収入は営業収益・営業外収益・特別利益で構成されています。

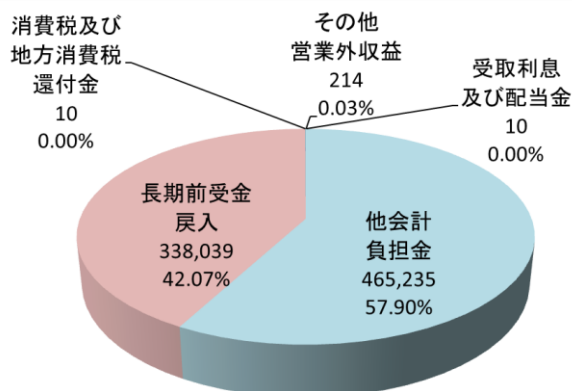


	予算額 (千円)
営業収益	962,332
営業外収益	803,508
特別利益	10
合計	1,765,850

- 営業収益 営業収益の約 99%が下水道使用料となっており、次に雨水処理負担金となっています。



- 営業外収益 営業外収益のほとんどが他会計負担金、長期前受金戻入となっています。
※長期前受金戻入・・・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

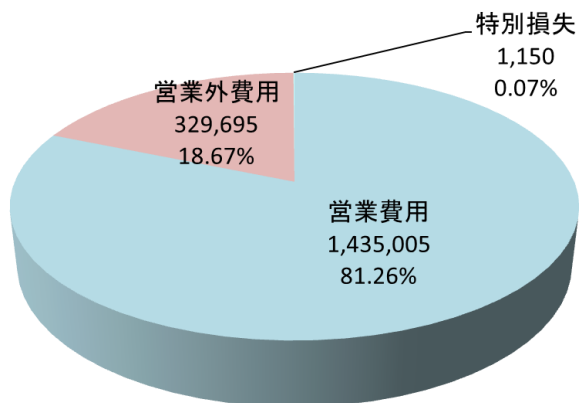


- 特別利益 特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上するものとなっており、過年度公共下水道使用料調定の増額修正等があった場合に、この科目に過年度損益修正益として計上することになります。



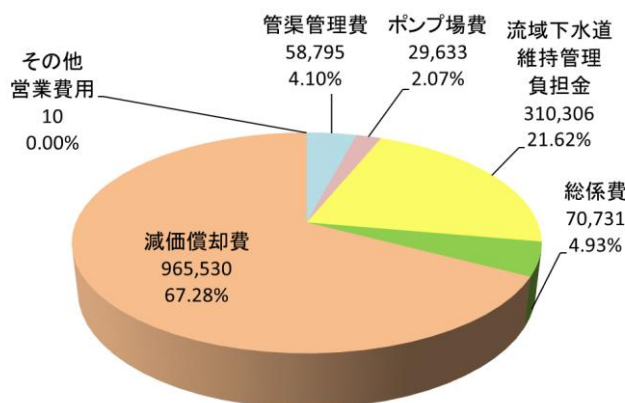
収益的支出（3条予算）・・・1,765,850 千円

収益的支出は営業費用・営業外費用・特別損失で構成されています。支出の約8割を営業費用が占めています。

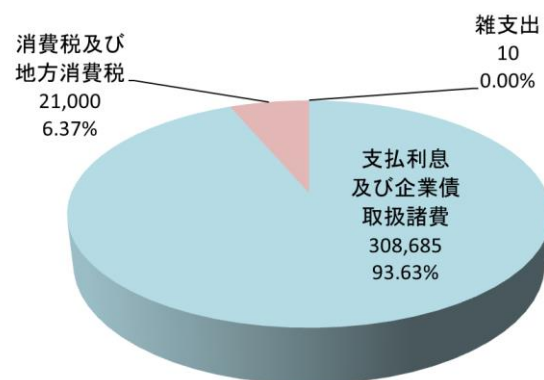


	予算額 (千円)
営業費用	1,435,005
営業外費用	329,695
特別損失	1,150
合計	1,765,850

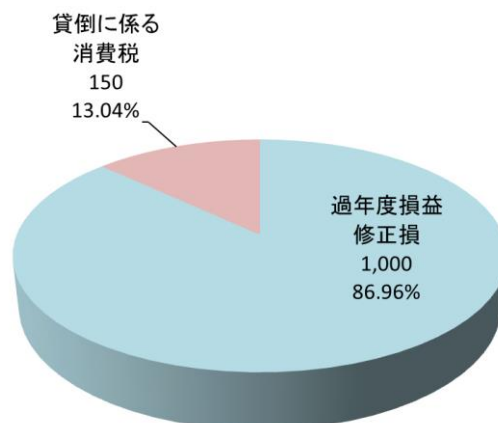
- 営業費用 営業費用の約67%が減価償却費となっており、次に流域下水道維持管理負担金、総係費、管渠管理費、ポンプ場費となっています。



- 営業外費用 営業外費用のほとんどが支払利息及び企業債取扱諸費となっています。

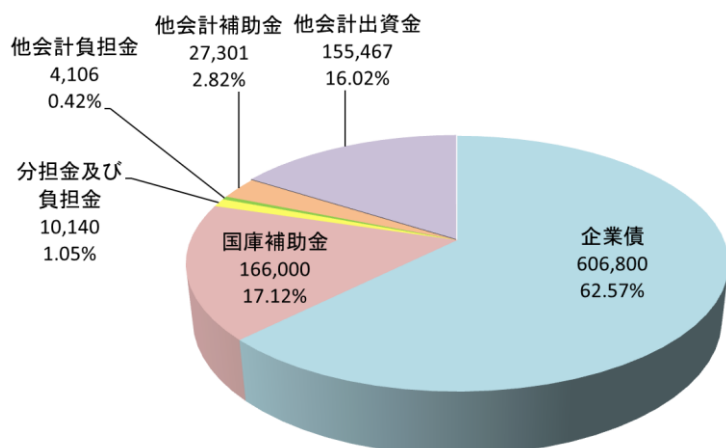


- 特別損失 特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっており、約87%は過年度公共下水道使用料未収金に係る欠損金を過年度損益修正損として、約13%は貸倒に係る消費税として計上しております。



資本的収入（4条予算）・・・969,814千円

資本的収入は企業債・国庫補助金・負担金及び分担金・他会計負担金・他会計補助金・他会計出資金で構成されています。

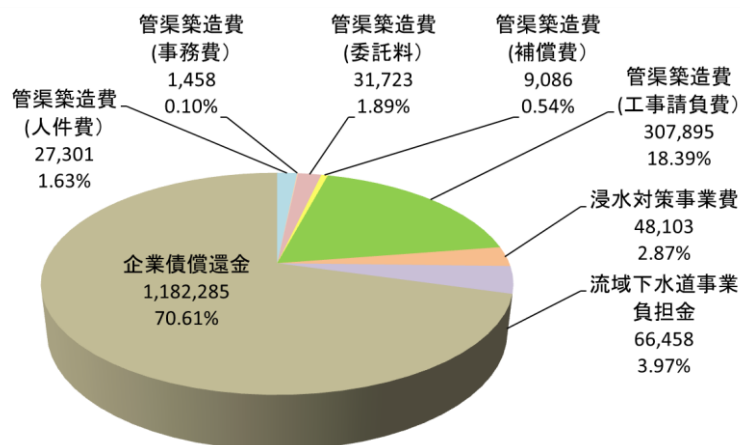


	予算額 (千円)
企業債	606,800
国庫補助金	166,000
分担金および負担金	10,140
他会計負担金	4,106
他会計補助金	27,301
他会計出資金	155,467
合計	969,814

- 資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に国庫補助金、各負担金、一般会計からの他会計出資金となっています。

資本的支出（4条予算）・・・1,674,309千円

資本的支出は建設改良費・企業債償還金で構成されています。



	予算額 (千円)
管渠築造費(人件費)	27,301
管渠築造費(事務費)	1,458
管渠築造費(委託料)	31,723
管渠築造費(補償費)	9,086
管渠築造費(工事請負費)	307,895
浸水対策事業費	48,103
流域下水道事業負担金	66,458
企業債償還金	1,182,285
合計	1,674,309

- 資本的支出の内訳ですが大部分を企業債償還金が占め、次に管渠築造費、流域下水道事業負担金、浸水対策事業費となっています。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金で補填することとなります。